

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2022年度)

専門分野区分	教養基礎	科目名	日本語表現法				科目コード	TL401A1					
配当期	前期	授業実施形態	通常				単位数	2 単位					
担当教員名	下田 加代子	履修グループ	1B(JN/KN/SN)				授業方法	講義					
実務経験の内容	航空業界、旅行業界では店舗責任者としてのマネージメント業務・研修業務に長年従事した。退職後は企業・大学等でビジネス実務・マナーの研修教育、ほか小論文の個別指導に携わる。培われた実務経験から丁寧でわかりやすい指導する。												
学習一般目標	文章から情報を正確に読み取り、話の要旨をきちんととらえることができる。 自分の考えを理論的に整理することができる。 語彙を増やし正しく選択できる。自分の思いを言葉にし、相手に分かりやすく伝えられる。 また、相手の話を集中して聞くことができる。多様な文章を読んでいる。												
授業の概要および学習上の助言	<ul style="list-style-type: none"> 芸術作品、小説、映像作品の感想文を書く。 新聞の社説などの要約、意見文の作成。 語彙力、読解力、文章作成力は短時間で身に付くものではなく、日々の積み重ねが大切。普段から小説や新聞を読み、その後、要約、感想を書くなどアウトプットも心掛ける。 												
教科書および参考書	文章読解、作成能力検定(文章検)3級、公式テキスト、基礎から学べる！文章力ステップ【文章検3級対応】												
履修に必要な予備知識や技能	文章読解、作成能力検定(文章検)3級、公式テキスト、基礎から学べる！文章力ステップ【文章検3級対応】												
使用機器	一般常識程度の知識と語彙力												
使用ソフト	筆記用具、辞書(国語辞典など)												
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が到達すべき行動目標											
	4	日本語を正しく使うことができ、語彙を正しく選択できる。											
	4	文法的・意味的に正しい文章を書くことができる。											
	4	文章の構成を理解し、内容を要約することができる。											
	4	論理的な思考に基づき、意見文を書くことができる。											
	5	読むこと、書くこと、聞くことへの興味を持ち、積極的に取り組んでいる。											
達成度評価	評価方法	試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計				
	1.知識・理解												
	2.思考・判断												
	3.態度												
	4.技能・表現	60				20			80				
	5.関心・意欲							20	20				
	総合評価割合	60				20		20	100				

試験	前期:文章検定3級 模擬テスト(定期試験期間に実施)
小テスト	
レポート	
成果発表(口頭・実技)	
作品	授業毎に出題される課題の提出とその内容により判断する。
ポートフォリオ	
その他	授業内態度(話が聞けているか、時間内に指定の文字数で書けているか)、取組姿勢(積極的か、意欲的か)などで総合判断する。

授業明細表

授業回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回	<ul style="list-style-type: none"> ■主題:授業オリエンテーション ■文章力の必要性(シラバス・文章検定の概要説明、授業の趣旨説明) ■文章作成力基礎:ブレーンストーミング(ゲーム形式) 	講義・実習	
第2回	<ul style="list-style-type: none"> ■主題:文書に対する苦手意識をなくす ■文章の基本を説明する(文章の正体、文章の目的) ■文章作成力基礎:ブレーンストーミング② 「ことばによるブレスト」 	講義・実習	
第3回	<ul style="list-style-type: none"> ■主題:基礎力の必要性と言葉への興味(語彙・文法) ■語彙・類義語の概念を説明する (3級テキストp.6~10) ■文法について説明する(3級テキストp.12~14) 	講義・実習	
第4回	<ul style="list-style-type: none"> ■主題:文章を全体構成という点から見つめる態度を養う ■文章読解(3級テキストp.16~20) ■資料分析(3級テキストp.21~26) 	講義・実習	
第5回	<ul style="list-style-type: none"> ■主題:わかりやすく伝えることの重要性「文を短く」 ■分かりやすさの大切さ ■短文化の意義とそのコツを説明する(3級テキストp.28~31) 	講義・実習	
第6回	<ul style="list-style-type: none"> ■主題:推敲のための注意を認識させる ■表現の推敲について ■表記の推敲について 	講義・実習	
第7回	<ul style="list-style-type: none"> ■主題:敬語について、その基本をマスターさせる ■敬語について説明する(3級テキストp.29) ■手紙における敬語(3級テキストp.32) 	講義・実習	
第8回	<ul style="list-style-type: none"> ■主題:手紙文の基本形式を確認させ、記書きの意義・効果を理解させる。 ■手紙文の形式を確認する(3級テキストp.34) ■実際に練習する(3級テキストp.35~38) 	講義・実習	
第9回	<ul style="list-style-type: none"> ■主題:意見文の型とその意義を理解させる。 ■意見文の方を説明する(3級テキストp.40) ■意見文の内容作りを説明する(3級テキストp.40~44) 	講義・実習	
第10回	<ul style="list-style-type: none"> ■主題:意見文を作ってみる ■事実と意見の関係を確認する(3級テキストp.45) ■意見文を書く練習をする。(3級テキストp.46) 	講義・実習	

第11回	■主題:意見文を作る練習 ① ■意見文を書く練習をする。(3級問題週p.62~67)	講義・実習	
第12回	■主題:意見文を作る練習 ② ■意見文を書く練習をする。(意見文例題から)	講義・実習	
第13回	■主題:意見文を作る練習 ③ ■意見文を書く練習をする。(意見文例題から)	講義・実習	
第14回	■主題:日本語表現(語彙力の定着) ■問題集「基礎から学べる！」 文章力ステップ(3級対応)から 指定した章について、自主的に課題を行い採点する。	問題解決 型授業	
第15回	■主題:日本語表現(語彙力の定着) ■問題集「基礎から学べる！」 文章力ステップ(3級対応)から 指定した章について、自主的に課題を行い採点する。	問題解決 型授業	